

荻本和彦 プロフィール

東京大学生産技術研究所 特任教授

S54(1979)年 東京大学工学部卒業後、電源開発株式会社において、直流送電、電力系統解析・計画、超伝導・太陽光・風力発電・直流送電電圧型変換器・水素エネルギーシステムなどの技術研究開発、設備保全業務のIT化、エネルギー技術戦略などに従事。

H20(2008)年より現職。エネルギーシステムインテグレーションとして、エネルギー技術戦略、物質・エネルギー需給解析・評価、動的エネルギー需給解析・評価、集中/分散のエネルギーマネジメントと再生可能エネルギー導入、エネルギーシステムの診断・評価とリスクアセスメントなどの研究に取り組む。

近年は、再生可能エネルギー大量導入時の課題と解決などの分野として、系統発電機の機能向上、太陽光発電・風力発電の価値向上、出力予測、需要の能動化、貯蔵技術や連系線の活用と、これらを含む電力・エネルギーシステムの最適運用・設備形成の研究を進める 2018 年よりエネルギーシステムインテグレーション社会連携研究部門 (ESI) 所属。ESI では、20 余社との協同研究において、電力需給解析ソフトとデータ提供による将来の電力・エネルギー分野の解析・評価を通して将来の電力・エネルギーシステムやビジネスのあり方を考え、新しい時代を牽引する人材を育成する活動を実施中。

資源エネルギー庁、NEDO、環境省、文科省などの委員会委員を務める